

1 幼 児 教 育 の 充 実

(1) 信州幼児教育支援センターの設置

全ての就学前児童に質の高い幼児教育を提供し、主体的に学び続ける信州人の基盤づくりを目指し、「信州幼児教育支援センター」を設置した。

ア 運営方針

- ①研修の充実 ②幼保小の接続・連携 ③配慮の必要な子どもへの支援
- ④子育て支援・保育参加 ⑤市町村・関係団体・県の連携

イ 運営委員

- ・学識経験者 1名 ・幼稚園、保育所等関係者 3名
- ・行政関係者 2名

ウ 専門部会委員

- ・学識経験者 4名 ・幼稚園、保育所等関係者 7名
- ・学校関係者 1名 ・行政関係者 14名

エ 事業内容

①フィールド研修会

- ・学びの改革実践園の発表をもとに、幼稚園や保育所、認定こども園等の園種を越え学び合い、自身の園での実践につなげる研修を実施。参加のべ人数 579人

②保育者研修体系の構築

- ・保育者育成指標をもとにした研修動画の作成。

③幼保小接続カリキュラムの開発

- ・園・小接続カリキュラムの開発「実践編」を作成。

(2) 研修事業

ア 幼稚園等新規採用教員研修

- ・令和4年度 18名（松本市立松本幼稚園、松本市立本郷幼稚園、松本市立本郷南幼稚園、安曇野市立穂高幼稚園、小布施町立栗ガ丘幼稚園、木曾町立木曾こども園、木曾町立三岳こども園、木曾町立日義こども園、木曾町立開田こども園）
- ・以下の園外研修（必修）に加え、園外研修（選択）、園内研修を実施した。

初任研スタート研修：4月12日 オンライン開催

参観研修：5月20日 松本市立本郷南幼稚園

カウンセリング研修：11月7日 長野県総合教育センター

イ 保育所一般保育士研修会

主催保健福祉事務所	開催期日
佐久保健福祉事務所	10月27日
上田保健福祉事務所	6月28日
諏訪保健福祉事務所	7月14日
伊那保健福祉事務所	6月16日
飯田保健福祉事務所	6月28日
木曾保健福祉事務所	8月22日 11月11日
松本保健福祉事務所	2月22日
大町保健福祉事務所	6月23日
長野保健福祉事務所	11月18日
北信保健福祉事務所	7月7日

ウ 保育所給食担当者研修会

主催保健福祉事務所	開催期日
佐久保健福祉事務所	10月20日
上田保健福祉事務所	10月12日
諏訪保健福祉事務所	11月9日
伊那保健福祉事務所	10月19日
飯田保健福祉事務所	10月27日
木曾保健福祉事務所	8月5日
松本保健福祉事務所	10月5日
大町保健福祉事務所	10月7日
長野保健福祉事務所	10月31日
北信保健福祉事務所	10月13日

8保健福祉事務所 延べ10日
参加総数 457人

10保健福祉事務所 延べ10日
参加総数 433人

ウ 事業所内保育施設等保育従事者研修会

佐久会場	佐久合同庁舎	2月20日
諏訪会場	諏訪合同庁舎	2月8日
松本会場	なんなん広場	2月16日
長野会場	職員会館	2月28日

エ 保育士等キャリアアップ研修

【乳児保育】

塩尻市総合文化センター	9月30日
オンライン	11月7日
長野市勤労者女性会館	1月16日
松本市なんなんひろば	2月13日

【幼児教育】

長野市勤労者女性会館	11月14日
オンライン	12月5日
オンライン	1月30日

【保健衛生・安全対策】

オンライン	11月25日
-------	--------

【障がい児保育】

松本市駅前会館	10月27日
オンライン	11月10日
長野市勤労者女性会館	1月20日

【食育・アレルギー対応】

オンライン	10月4日
-------	-------

【保護者支援・子育て支援】

長野市勤労者女性会館	10月14日
オンライン	11月30日
オンライン	12月14日

(3) 国公立幼稚園教育の振興

ア 国公立幼稚園研究委員会

文部科学省から示された統一協議主題について、各園の研究計画及び実践状況の報告とその検討を行った。

第1回：6月3日 オンライン開催

第2回：10月14日 オンライン開催

イ 公立幼稚園教育課程研究協議会

各幼稚園の教育課程編成や教師の指導力向上のため、幼稚園の教育課程のあり方、指導上の諸問題について研究協議を行う。

10月25日 松本市立本郷幼稚園

(4) 幼稚園・保育所等と小学校の連携

ア 幼年教育教育課程研究協議会

幼稚園・保育所等と小学校が連携して、幼年教育の改善と向上に資するために、会場園の公開保育・授業等を通して、教育課程の望ましい編成や指導のあり方等について協議を行う。

東北信地区：11月18日 野沢温泉村（のざわこども園・野沢温泉小学校）

中南信地区：10月6日 阿智村（伍和保育園・阿智第二小学校）

(5) 信州型自然保育（信州やまほいく）の普及推進

ア 認定

豊かな自然環境や地域資源を活用した、屋外を中心とする様々な体験活動を積極的に取り入れた保育・幼児教育を行う園を認定。特化型（週15時間以上の体験活動）と普及型（週5時間以上の体験活動）の2種類。

認定園数（令和4年10月） 270園 [特化型15、普及型255]

イ 研修

自然保育の質の向上、専門性の高い人材育成・確保のための研修を実施。

① 自然保育研修交流会（3回 参加者のべ352人）

自然保育についての理解促進と、認定園同士の交流を図るための研修

② 自然保育専門研修（23回 参加者のべ455人）

認定園のニーズに応じた選択型研修

ウ 認定園の保育環境等の向上

既存の保育・教育制度による公的助成を受けていない認定園における職員の処遇向上を図るため、人件費相当分を助成。

令和4年度助成対象 10園